

九州大学百年史 第4巻 : 部局史編 I

九州大学百年史編集委員会

<https://doi.org/10.15017/1462303>

出版情報 : 九州大学百年史. 4, 2014-08-31. 九州大学
バージョン :
権利関係 :



九州大学百年史

第 4 卷
部局史編 I

序

九州大学は1903（明治36）年創設の京都帝国大学福岡医科大学をその直接の前身として、1911（明治44）年、工科大学・医科大学よりなる4番目の帝国大学として創立されました。2011（平成23）年に創立100周年を迎え、次の100年に向けて「知の新世紀を拓く」ことを目標に掲げ、広く世界において指導的な役割を果たし活躍する人材を輩出し、世界の発展に貢献することを目指しています。

新しい100年を切り開いていくためには、新たな九州大学像を明確に描くことが必要であると同時に、これまでの九州大学の歩みを振り返ることもまた重要です。『九州大学百年史』は、九州大学のこれまでの教育研究の成果や、それを通じた地域社会・日本・世界への貢献の歴史を、内外に積極的に公開することを目的として編集されています。本書を通じて九州大学の歴史を広く知っていただくとともに、今後の九州大学のあり方について、示唆や指針を得る手がかりとしていただきたいと存じます。

『九州大学百年史』は通史編・部局史編・資料編から構成され、本巻は部局史編の最初の巻として公開されます。1924（大正13）年、九州帝国大学初の文科系学部として法文学部が創設されましたが、本巻にはこの法文学部に淵

源をもつ部局を中心として、人文科学府・文学部・人文科学研究院、比較社会文化学府・比較社会文化研究院、教育学部、人間環境学府・人間環境学研究院、法学府・法学部・法学研究院、法務学府、経済学府・経済学部・経済学研究院、言語文化研究院の8部局を収録いたしました。各部局が、それぞれの創設から現在までの独自の歴史なかで、どのように教育・研究を展開・発展させてきたか、詳しく叙述されています。

九州大学では2006（平成18）年に百年史編集ワーキング・グループを設置して百年史編集事業の検討を開始し、2007年に百年史編集委員会を、2009年に大学文書館に百年史編集室を設置して『九州大学百年史』の編集を行ってまいりました。本年、大学史としては初めての試みとして、印刷物の刊行に先立って資料編ⅠのWEB公開を開始し、引き続き本巻もWEBで公開する運びとなりました。インターネット環境さえあれば本書をご覧いただくことができますので、九州大学の卒業生、在学生、教員・職員のみならず、他大学の関係者、大学史等の研究者、地域や企業のみなさまなど、九州大学に対して関心をもっていただいている多くの方々のご高覧を賜りたいと存じます。

九州大学は2005（平成17）年より伊都キャンパスへの統合移転を開始し、本巻収録の部局のうち、比較社会文化学府（2014年より地球社会統合科学府に改組）・比較社会

文化研究院と言語文化研究院はすでに移転を完了いたしました。今後はこのほかの部局の移転を進め、伊都キャンパスを「知の拠点」としてますます、教育・研究の充実、産学官連携の強化、国際化の推進を行ってまいります。

本巻の編集にあたっては、卒業生・旧職員ほかのみなさまから資料提供等のご協力を賜りました。また、各部局の教員・職員各位には執筆等の労を執っていただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

2014（平成 26）年 8 月

九州大学総長 有川節夫

凡 例

- 1 本巻「部局史編Ⅰ」には九州大学の部局のうち以下の8部局を収録した。収録対象部局は2010（平成22）年3月31日時点で存在している部局とし、部局名も原則としてその時点での部局名とした。

人文科学府・文学部・人文科学研究院

比較社会文化学府・比較社会文化研究院

教育学部

人間環境学府・人間環境学研究院

法学府・法学部・法学研究院

法務学府

経済学府・経済学部・経済学研究院

言語文化研究院

- 2 各編で記述される期間は、原則として当該部局の創設から2012（平成24）年3月31日までとした。ただし当該部局の前身となる部局が存在する場合はその部局についても記述した。また、2012年4月1日以降について、各部局の判断で記述したことがある。
- 3 部局史編は、九州大学百年史編集委員会において決定した編集方針に基づき、各部局史編集組織の責任で執筆・編集されたものである。
- 4 本文の漢字表記は常用漢字・現代かなづかいを用いた。ただし人名等の固有名詞についてはこの限りではない。
- 5 引用資料は漢字を原則として常用漢字体に改めたほかは原文どおりの表記とした。ただし、ふりがな・傍点・傍線等は原則として省略した。
- 6 年紀は西暦で示し、適宜元号を補った。
- 7 敬称は資料提供者名以外は省略した。敬語は用いないこととした。
- 8 本文中の図（写真を含む）・表には編ごとに番号を付した。例えば、第1編の第1図を「図1-1」のように示した。

- 9 資料編各巻に収録した資料については、収録した資料編の巻号と資料番号、頁数を示した。例えば資料編 I の 100 番資料 262 頁を「資料編 I - 100、p.262」のように示した。
- 10 各編の記述内容には、『九州大学五十年史』通史・学術史に依拠した部分があるが、煩を避けるため、原則として逐一出典を示さなかった。
- 11 頁番号は編ごとに付し、例えば第 1 編の 3 頁を「1-3」のように示した。